



あきら やま 初山 章さん (小森)
 絹川地区自治協力員会 会長

11日には、結城ケーブルテレビでボランティア募集を呼びかけ、その後NHKのニュース番組でもボランティア募集を呼びかけてもらうことができました。12日、13日にかけては、絹川小学校にボランティアセンター本部を設置して、被災された世帯のがれきやごみの搬出などを実施しました。ボランティアの人数ですが、12日は民生委員・児童委員の皆さんを始め、各学校の教職員の皆さん、また県内外からのボランティア、あわせて185人、13日は消防団員の皆さんを含め179人の方に活動していただきました。多くの皆さんにご協力いただき、この場をお借りして

初山

私の住んでる地域は田川沿いに位置しています。堤防に行くと、鬼怒商業高校は水に浸かり、その付近にある関東



9日は、当直のほかに社員一人を残していました。午後10時30分ごろ、雨は激しかったのですが増水はなかったため、その社員を帰宅させました。10日午前2時ごろ、入り口から全て冠水していますとの連絡があり、すぐに会社に行きました。田川から水がどんどん流れてきて、会社には全く入れない状況でした。1階が完全に冠水していましたので、朝の8時ごろにレスキュー隊のゴムボートで当直の従業員を救出していただきました。午後6時ごろ、もう水も引いただろうと思いい、鬼



ひろ まさ 武藤 正浩さん (小森)
 関東道路株式会社 代表取締役社長

北島 皆さんの被害状況などを聞いてみると、山川地区は、山王ではかなり被害がありました。私が、私の住んでいる山川沼

周辺では、比較的少ない被害で済んだと改めて思いました。「山川沼」と呼ばれる水田地帯は、普段の雷雨でも冠水してしまうような低い場所です。排水機場に大きなポンプがあり、水が溢れないよう下流に放出しているのですが、当時も排水機場が稼働して見守っている状況でした。しかし、9日の朝になると冠水が始まっていて、10日の朝には稲穂の頭だけが出ているような状態で、それでもポンプが稼働しているから大丈夫かなと思っていたのですが、夕方になるとほとんど稲穂が見えなくなっていました。2日、3日は稲穂が水没した状態



のり きた 北島 嘉典さん (善右衛門新田)
 茨城県農業経営士 JA北つくば理事

改めて感謝申し上げたいと思います。特に絹川地区においては、鬼怒川と田川に堤防がない箇所があります。国や県と総力を挙げて、今後の対策につなげていきたいと思っています。

市長

私も災害対策本部長として指示を出していました。市でも、ハザードマップや災害時の行動計画などを策定し、日ごろから非常時のための準備を整えています。やはり全てマニュアルどおりにいくものではなく、見直すべき点多くありますね。

なかなか細かいところまで見る事ができなかったのですが、いま皆さんのお話を聞き、その活躍を知ることができ、

改めて感謝申し上げたいと思います。特に絹川地区においては、鬼怒川と田川に堤防がない箇所があります。国や県と総力を挙げて、今後の対策につなげていきたいと思っています。

北島 一次に、今回の豪雨災害に直面して困ったこと、また一市民として感じたことやご意見などをお聞かせください。――

北島

今回の豪雨は、排水が間に合わないくらいに相当な雨量でした。この先どうなってしまうのかと、危機感を募らせ

怒商業高校のグラウンド近くまで歩いて行きましたが、まだ水が膝上までありました。今回は、自分たちの予想をはるかに超える、前例のないような水害でした。国土交通省の調査によると、浸水時の自社付近の水位は地面から2.8mとのことでした。大型タンクも道路を整備する重機もすべて冠水してしまいました。が、地域内で死者が一人も出なかったことが何より良かったなと実感しました。

武藤

堤防などを早急に整備することが必要だと感じます。また、今回の水害では、会社の重機約60台が水没してしまいました。トップとしても少し違う判断をしていけば、もつと被害を少なくできたかもしれません。今回の教訓を肝に銘じ、やるべきことはやらないといけないと痛感しました。



ひろ まさ 武藤 正浩さん (小森)
 関東道路株式会社 代表取締役社長

今回の水害では、地域の被害復興に全く役に立ってなかったのが悔しいです。何か災害があったとき、自社の重機を使って地域の皆さんを手助けできるのではないかと思うので、今回の反省を次のステップにつなげていきたいと思っています。

初山 今回、絹川の中地区でも水門が閉まってしまい、上流からの水が溜まり溢れてしまいました。また、才光寺にある大きな水門も、モーターが堤防より下にあったものですが、全て水に浸かってしまっ

後また大雨が降って水門が開かないときには、緊急時用の排水ポンプなどをお借りし、早い段階で水をくみ上げることでできればいいのではと思っています。久保田地区では、住宅地が広い範囲で冠水し、避難するにも大変でした。また、小森地区でも氾濫が始まった時に、小森の大桑神社に避難しようとしたら、ここではだめというところで、なかなか総合体育館に避難しました。しかし、なかなか体育館は駐車場が狭く、非常に混雑していました。

